

- 氏名 : 成澤伸之
- 会員番号 : PE-0323
- 専門分野 : 機械設計
- 保有資格 : 技術士 (機械部門)



FE 試験受験 : 2018/11

PE 試験受験 : 2022/03

PE 登録 : 2022/08

私は神奈川県の機械メーカーで開発設計を担当しています。この度ケンタッキー州に PE 登録をしました。これまで FE・PE 試験の合格体験記なども書いたことがありませんでしたので、ここではそもそものきっかけから、試験を経て登録に至るまでの流れをご紹介しますと思います。

1. PE をめざしたきっかけ

他の方の体験記を拝見すると、やはりというか何というか同じ経歴を持つ方は多いようですが、私も日本の技術士に合格した後で、業務とは無関係に PE に興味を持った人間です。

とは言っても、当初は技術士受験のために勉強したことをそのまま忘れてしまうのが忍びないというレベルの気持ちから、自己研さんの一環として FE 試験の参考書を手に取っただけ。一連の費用に圧倒されたこともあり、その時はまだ PE までの受験や登録は考えていませんでした。

2. JSPE 受験・登録相談会

上記の通りぼんやりした気持ちで始めた試験勉強でしたので、あまり着実には進まず… 一度刺激を受けようと、2017 年の 3 月に JSPE の PE/FE 受験・登録相談会に顔を出しました。この会では、WEB サイトの情報だけでは分からない背景的な話や試験対策の詳細、各種申請方法などを流れに沿って知ることができ、とてもとても有意義でした。結局この相談会でもらった資料一式は、FE・PE の受験だけでなく、最終的な州への PE 登録まで何度も読み返しました。

3. FE・PE 試験勉強

相談会で参加者の方々からいただいたエネルギーをもとに、午前 4 時から開いているタリーズで週末の朝勉を継続。安物タブレットに入れた Reference Handbook を片手に、Amazon で中古を購入した PPI の FE Review Manual (PE の時は同じく PPI の Practice Problems) をひたすら繰り返して解く感じで進めました。実際の試験に比べると、これら 2 冊の参考書の問題は難しすぎる気がしますが、まあやっておいて損はないということ…

なお、いずれの参考書とも変に人目を引く(英語と数式が大量に書かれた分厚い本なので「私すごく頭良いです」みたいに見える)ので、PDF か一部のコピーを持ち歩いた方が良さそうです。

4. 受験

FE・PE 試験は、東京のテストセンターで CBT（パソコンで受ける形式のテスト）を受けました。試験問題のボリュームは多く、つまづく問題も多少ありましたが、逆に数秒で解けてしまう問題も結構あるので、分からない問題を次々飛ばしていけば、最終的には FE・PE とも時間が余った印象でした。

むしろ他の方の体験記にもありますが、テストセンターの立地は昼食の場所が問題です。休憩時間も長くはないので、もし晴れているなら迷わず 1F のコンビニで何かを買って、道路を渡って日比谷仲通りのベンチあたりで食べるのが良いかも。

なお、自分が FE を受けた時は休憩時間をオーバーしてしまい、席に戻るともう試験時間のカウントダウンが始まっている状況でしたので、少し余裕を持って戻った方がいいと思います。

5. 登録州の選定と学歴評価

最初に書いた通り、当初本気で考えていなかった PE 受験と登録。しかし社内で北米拠点との連携強化の話が持ち上がったことをきっかけに考え直し、取り掛かりました。

勤め先の拠点はインディアナ州にありますが、ここでの PE 登録は SSN（米国の社会保障番号）が必須だったので断念。JPEC に条件が柔軟な隣のケンタッキー州を候補としました。

ところで PE 登録の関門である学歴評価(Credentials Evaluation)に関して。私の出身学部は JABEE 認定なのですが、JPEC の「PE 登録の手引き」を読むと、JABEE なら学歴評価を免除されそうな記載が。そこでダメもとで資格登録局に「ABET と同じくワシントン協定加盟の JABEE を卒業したけど、学歴評価は必要？」と聞いてみたところ、「ABET は色々なレベルがあり、この州に必要な EAC に満たないものもあるため、non-EAC なら NCEES の評価が必要」との回答。

仕方なく学歴評価を受けるため、4 月に大学から在籍時（15 年以上前…）の和文シラバスを送ってもらい、6 月くらいまでかかって Google 翻訳で英文化しました。

なお、大学側は直近でこの NCEES 対応を経験していたらしく、一連の必要手続きについて協力的に教えてもらえました。対応も早く、自力で英訳したシラバスを大学へメール送付したところ、翌日には NCEES へ郵送済との連絡が。内容チェックとかしたんだろうか…と逆に心配にもなりましたが、他の方の体験談では第三者機関の翻訳証明を求められるケースもあるようなので、ちょうど良いアバウトさに感謝です。

その連絡から 8 日後に NCEES より「必要書類が届き、学歴評価の準備が完了した」との連絡があり、実際の評価は料金支払いから 4 日で完了しました。

6. PE 登録

7 月に入って学歴評価結果をケンタッキー州の資格登録局へ送付し、申請作業を始めました。申請書には Reference 5 名と Supervisor 1 名の連絡先などを書く必要がありますが、JPEC の HP で見れる「州登録に関する追加情報」によれば、ケンタッキー州の Reference は日本の技術士でも良いことになっていたので、5 人とも技術士会関係の知人に依頼。さらに Supervisor は直接の上長でなくとも、申請者の業務をよく知っている人であれば良く、米国 PE や日本の技術士でなくても良いということだったので、勤め先の隣の席の人をお願いしました。

申請書類を送付し、申請料を支払ってから 2 週間ちょっとの 8 月初旬に、PE 登録完了のメールを受領。そのさらに 1 週間後には、登録証の原紙を郵送で受け取りました。

思ったよりペラい紙（しかもレターサイズなので普通の額縁に収まらない…）でしたが、これまで費やした時間と金額を考えると、何とも言えない気持ちになりました。USのAmazonから取り寄せたレターサイズのフレームに入れて飾ろうと思います。

以 上